

2. 豊岡道路計画で考慮する事項

概略ルート(案)検討のフロー

1. 豊岡道路ルート範囲(第1回懇談会で提示)

第2回懇談会

2. コントロールポイント及び配慮事項の確認
(アンケート調査と第1回懇談会での意見を踏まえ討議)

3. 豊岡道路概略ルート(案)の範囲の考え方

4. 概略ルート(案)の提示(第3回懇談会で予定)

アンケート調査での意見

設問: 今後、北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」を、さらに検討していく際に、どのようなことに配慮すべきでしょうか？

- ・豊岡市の西側を通るルートとすること
- ・住宅地を避け、水田や山林を通るルートとすること
- ・コウノリやクマタカなど貴重な動植物と共存できるルートとすること
- ・災害時でも走行できるルートとすること
- ・冬場でも走行しやすい道路の幅にすること

自由意見

- ・インターチェンジにアクセスしやすい道路にすること
- ・コウノリの餌場の水田に配慮すること
- ・粘土質の田園地帯や神社、仏閣、墓地、遺跡に配慮すること
- ・景観に配慮すること

分類

自然に関する項目

社会環境に関する項目

史跡・墓地等に関する項目

公共施設等に関する項目

防災関連に関する項目

その他に関する項目

第1回懇談会での意見

第1回懇談会での意見

・ 豊岡地域においては貴重な動植物について配慮すること。

・ 景観に配慮すること。

・ 観光資源と救急医療のネットワークに配慮すること。

・ 起点部(北端)は現道等のアクセスを考慮して検討すること。

分類

自然に関する項目

社会環境に関する項目

史跡・墓地等に関する項目

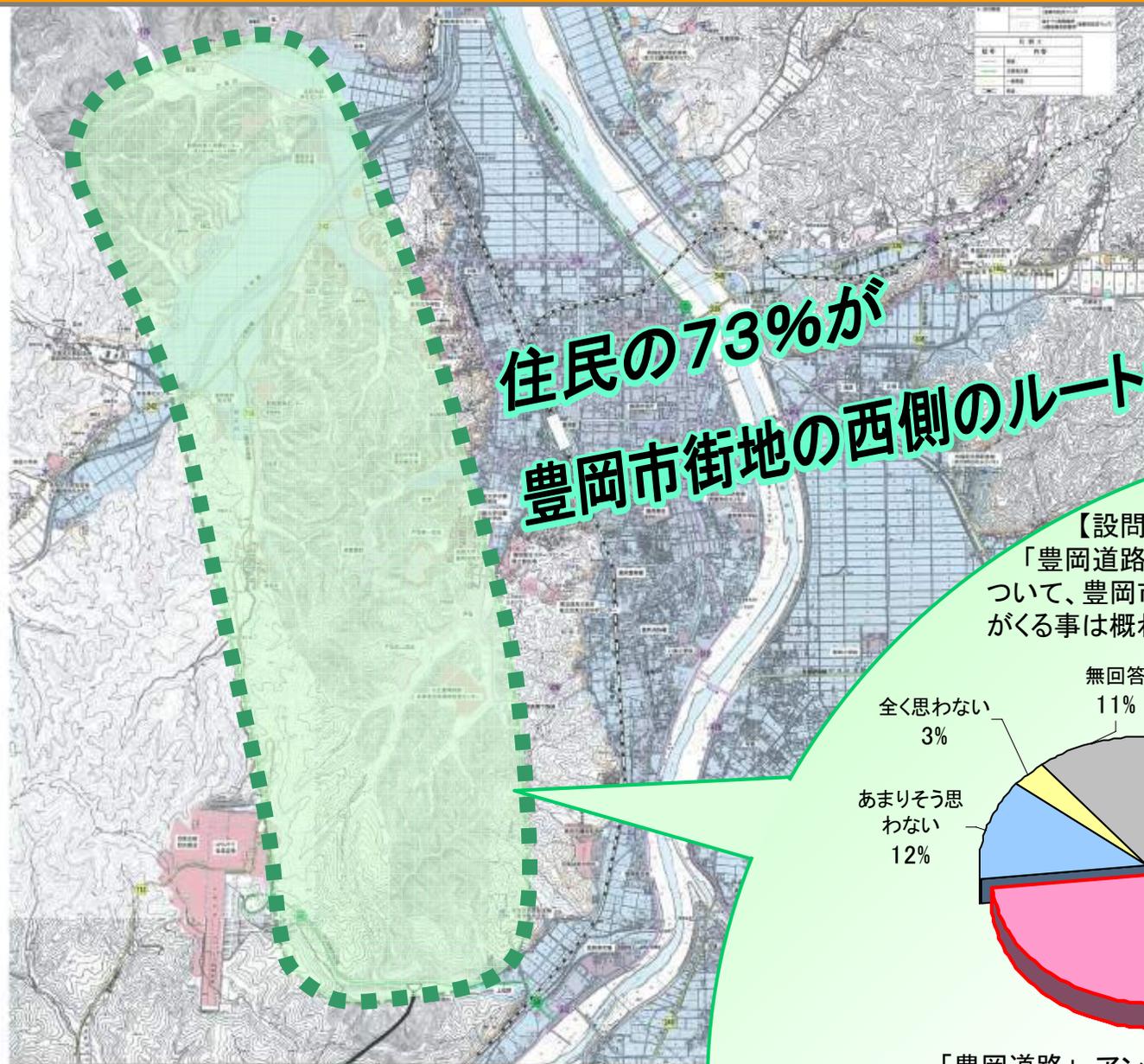
公共施設等に関する項目

防災関連に関する項目

その他に関する項目

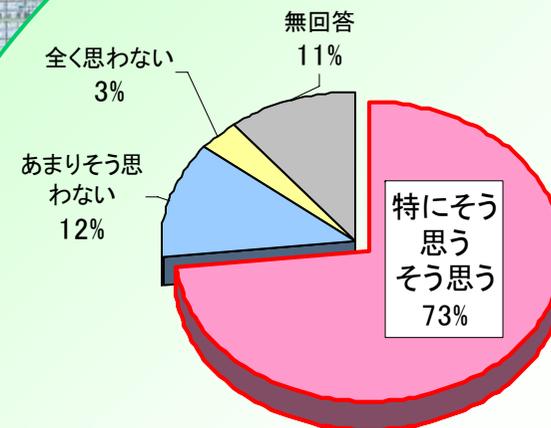
1. 豊岡道路ルート範囲

(アンケート調査結果により第1回懇談会にて提示)



【設問】

「豊岡道路」のおおよその範囲について、豊岡市街地の西側にルートがくる事は概ね妥当だと思う。

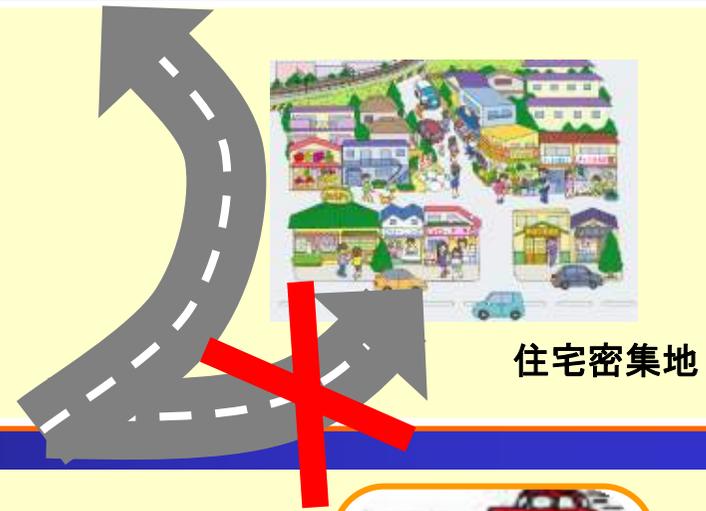


「豊岡道路」 アンケート調査結果 (H19)

2. コントロールポイント及び配慮事項の考え方

コントロールポイント

- 道路のルートを検討する際に、
極力避けるべきもの



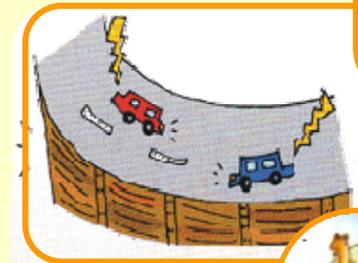
配慮事項

- ルートの配慮事項
道路のルートを検討する際に、
地域の状況をふまえて考慮するもの

- 技術的検討課題
ルートだけでなく、構造で配慮するもの

エコロード

道路としての機能は重要



景観に配慮



1) 周辺のコントロールポイント(第1回懇談会にて説明)

コントロールポイントとは、道路の利便性を考慮して通過すべき地点、支障すると社会的影響等が大きく避けるべき地物・建物等。

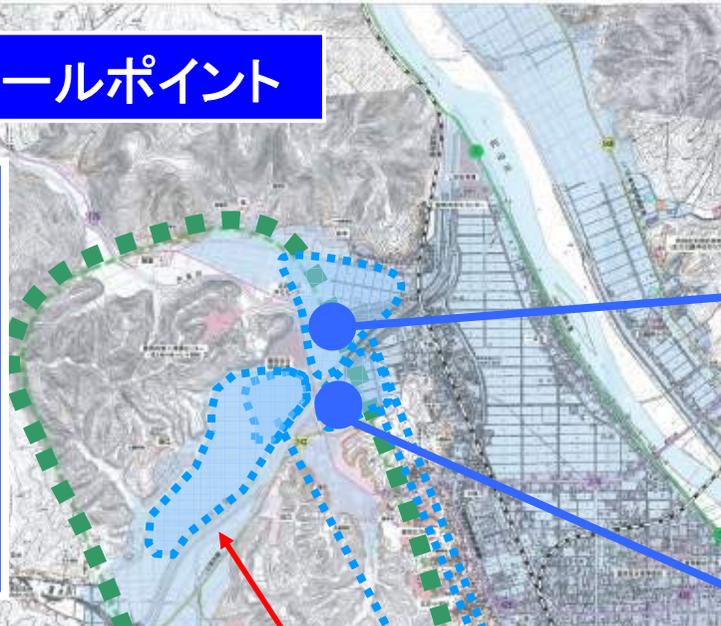


主なコントロールポイントの項目

項目	内容
A. 自然	貴重な動植物、採餌場、営巣地等
B. 社会環境	学校、病院、住宅密集地等
C. 史跡等	天然記念物、遺跡、文化財、社寺、仏閣、霊園等
D. 公共施設等	空港、鉄道駅、浄水場、清掃センター等
E. 防災関連	平成16年台風23号浸水区域、地すべり危険箇所等

A. 自然に関するコントロールポイント

オオタカ



えさ場水田の拡大の可能性
(懇談会意見)

コウノトリ人工巣塔



ビオトープ

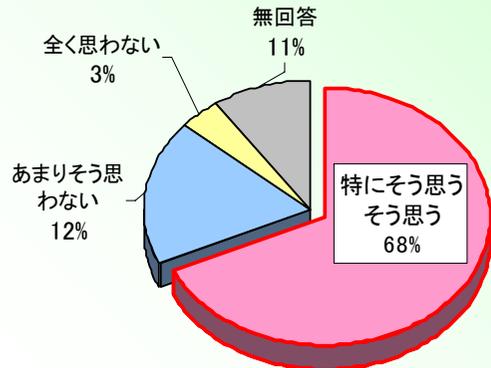


コウノトリの飛来地(えさ場)



**住民の68%が
貴重な動植物との共存を望む!**

【設問】コウノトリや生態系の頂点であるクマタカなど貴重な動植物と共存できるルート・構造にした方が良い

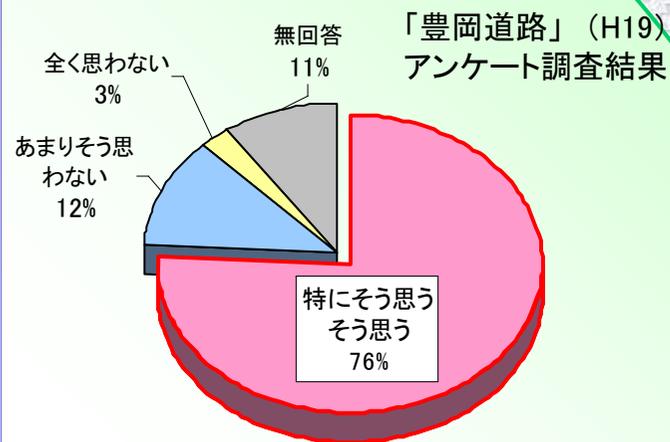


「豊岡道路」 アンケート調査結果(H19)

B. 社会環境に関するコントロールポイント

**住民の76%が
住宅地を避けたルート
を望む！**

【設問】住宅地を避けて、水田や山林を通るルートとすべきである

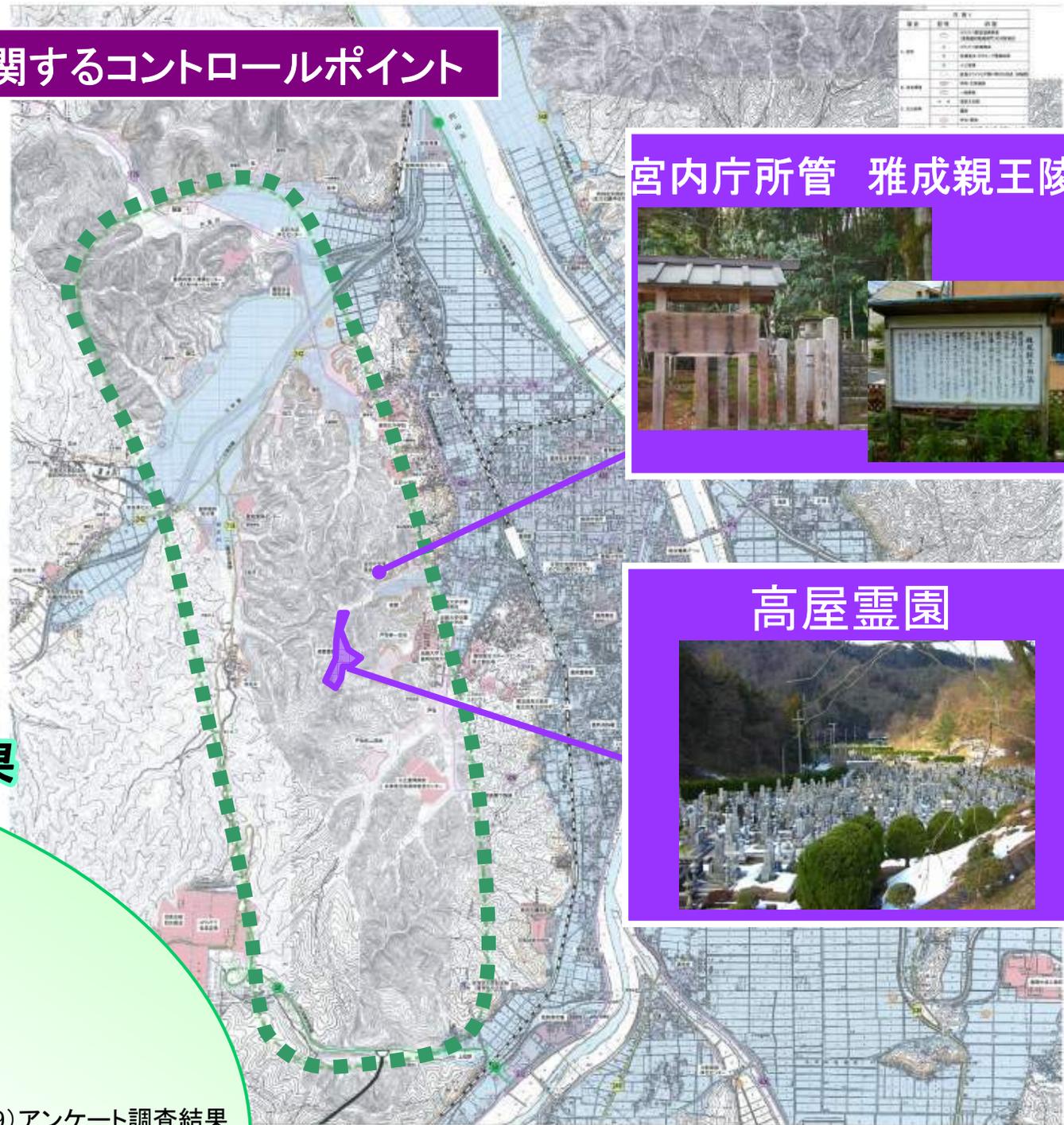


C. 史跡・墓地等に関するコントロールポイント

アンケート調査結果 自由意見

- ・ 神社、仏閣、墓地、
遺跡に配慮すること

「豊岡道路」(H19)アンケート調査結果



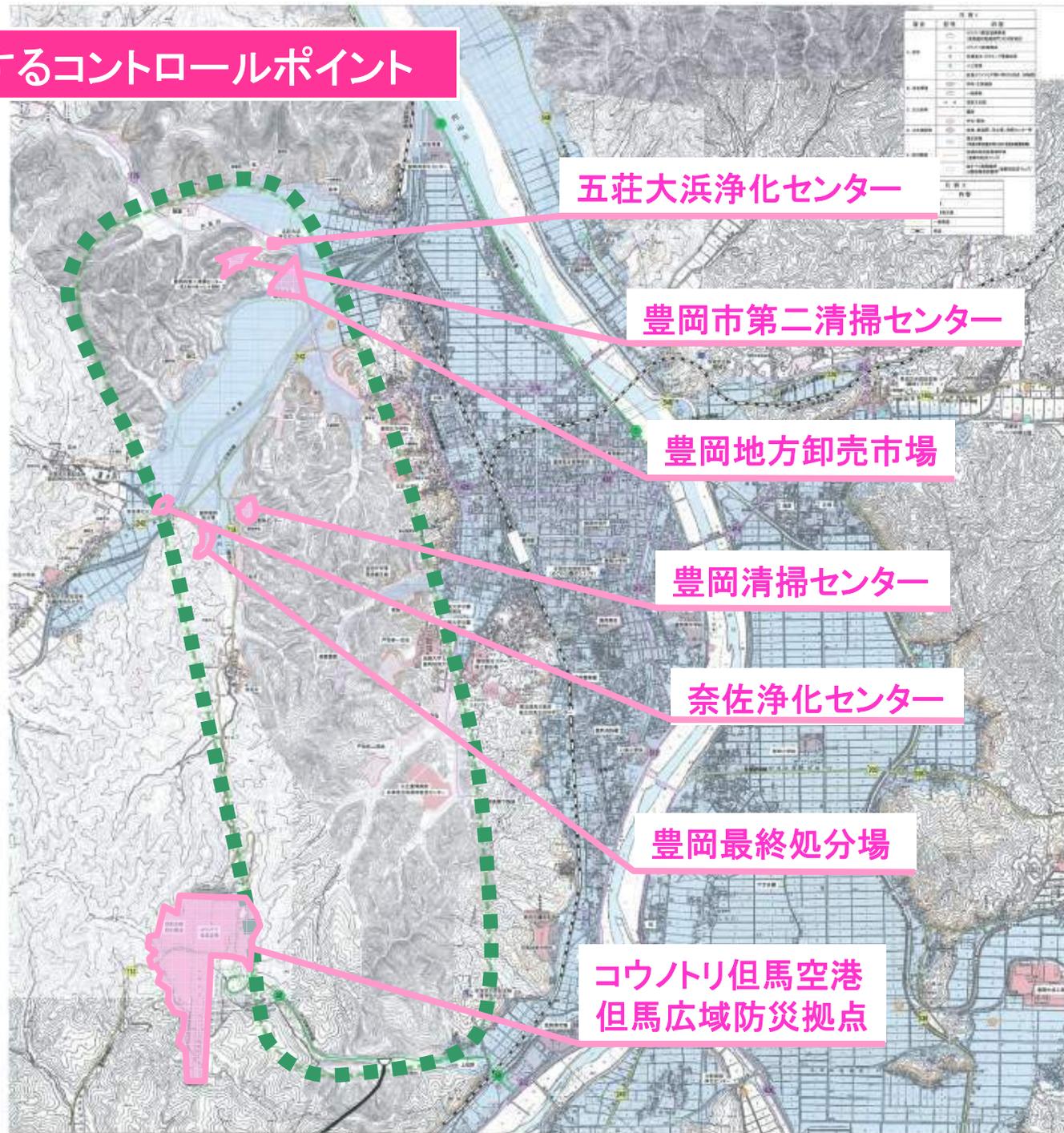
宮内庁所管 雅成親王陵



高屋霊園



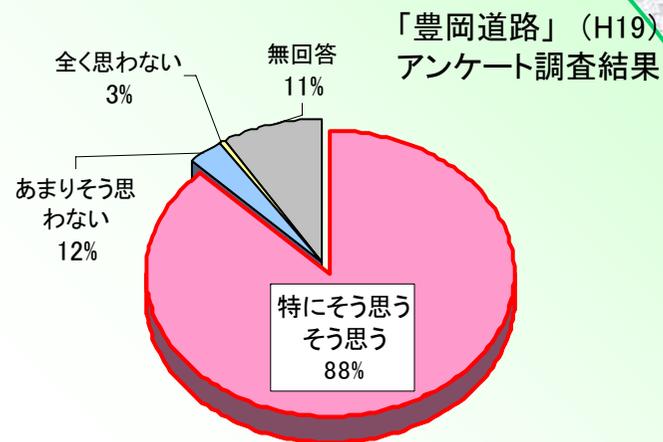
D. 公共施設等に関するコントロールポイント



E. 防災関連に関するコントロールポイント

**住民の88%が
災害時の緊急輸送道路として走行できるルートを望む!**

【設問】災害時でも緊急輸送として走行できるルート・構造にした方が
良い



コントロールポイントの合成



2) 配慮事項(ルート検討上の配慮事項)

自然に対する配慮事項

意見：貴重な動植物との共存

えさ場水田拡大の可能性
→えさ場水田(将来)に配慮
→専門家の意見を参考

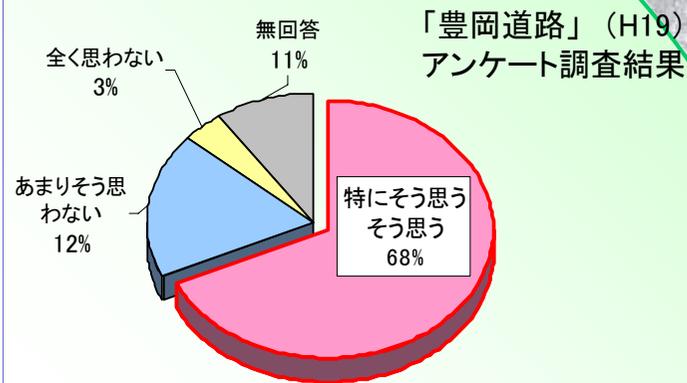
コウノトリの巣塔、ピオトーフ、飛来地(えさ場)



コントロールポイント

住民の68%が
貴重な動植物との共存を望む！

【設問】コウノトリや生態系の頂点であるクマタカなど貴重な動植物と共存できるルート・構造にした方が良い



えさ場水田(将来)



コウノトリ

○法律及び制度上の位置づけ ○地域の位置づけ

- ・特別天然記念物(1956) [文化財保護法]
- ・国内希少野生動植物種(1993) [種の保存法]
- ・兵庫県の県鳥
- ・旧豊岡市の市鳥
- ・「コウノトリ野生復帰事業」
- ・「コウノトリ育む農法」

【自由意見】・コウノトリの餌場の水田に配慮すること

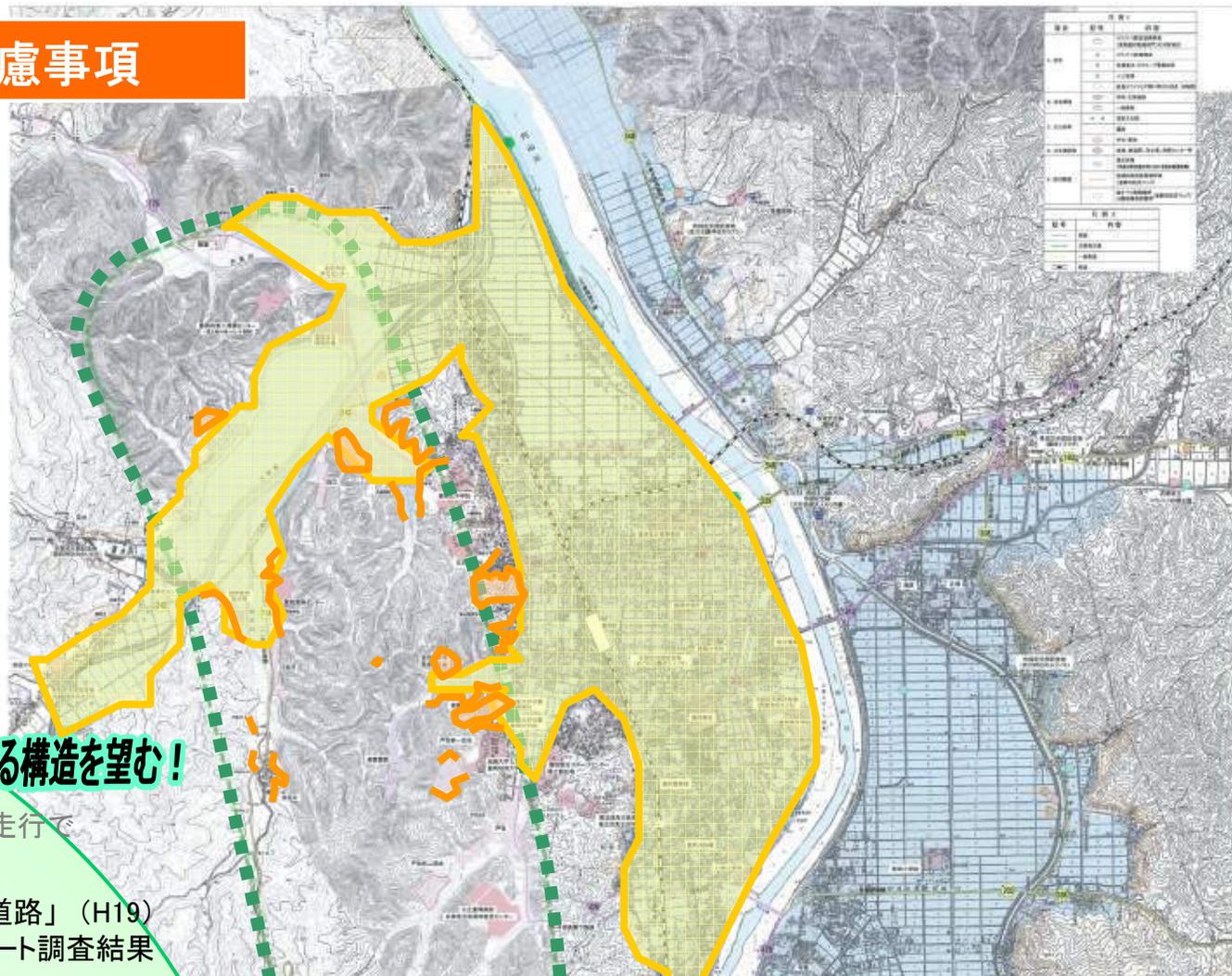
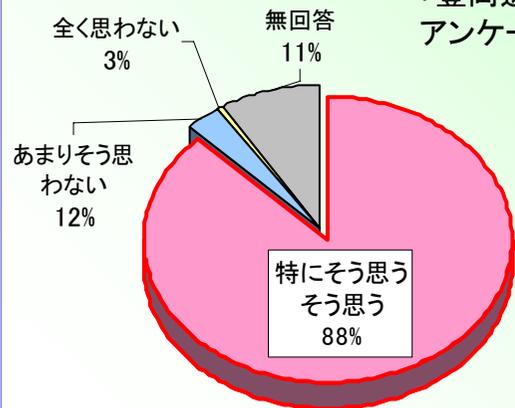
防災関連に関する配慮事項

意見：災害時の走行性

**住民の88%が
災害時の緊急輸送道路として走行できる構造を望む！**

【設問】災害時でも緊急輸送として走行できるルート・構造にした方が良い

「豊岡道路」(H19)
アンケート調査結果



-  **浸水区域**
(浸水に対応できるよう配慮する)
-  **土砂災害**
(小規模な土砂災害に配慮する)

3) 配慮事項(技術的検討課題)



【アンケートでの意見】

浸水域の道路構造を検討

- ・災害時にも安全に通行可能な道路構造を検討 (高架構造 等)

- ・災害時の走行性
- ・冬場の走行性

地形に配慮した道路(詳細なルート)を検討

- ・切土盛土を極力少なくした地形改変の少ないルートを検討

- ・住宅地を避け
水田、山林を通過

軟弱地盤地域に配慮した道路構造を検討

- ・安全な道路構造を検討 (高架構造 等)

- ・災害時の走行性

走行安全性に配慮した道路を検討

- ・緩やかな曲線となる平面及び縦断線形を検討

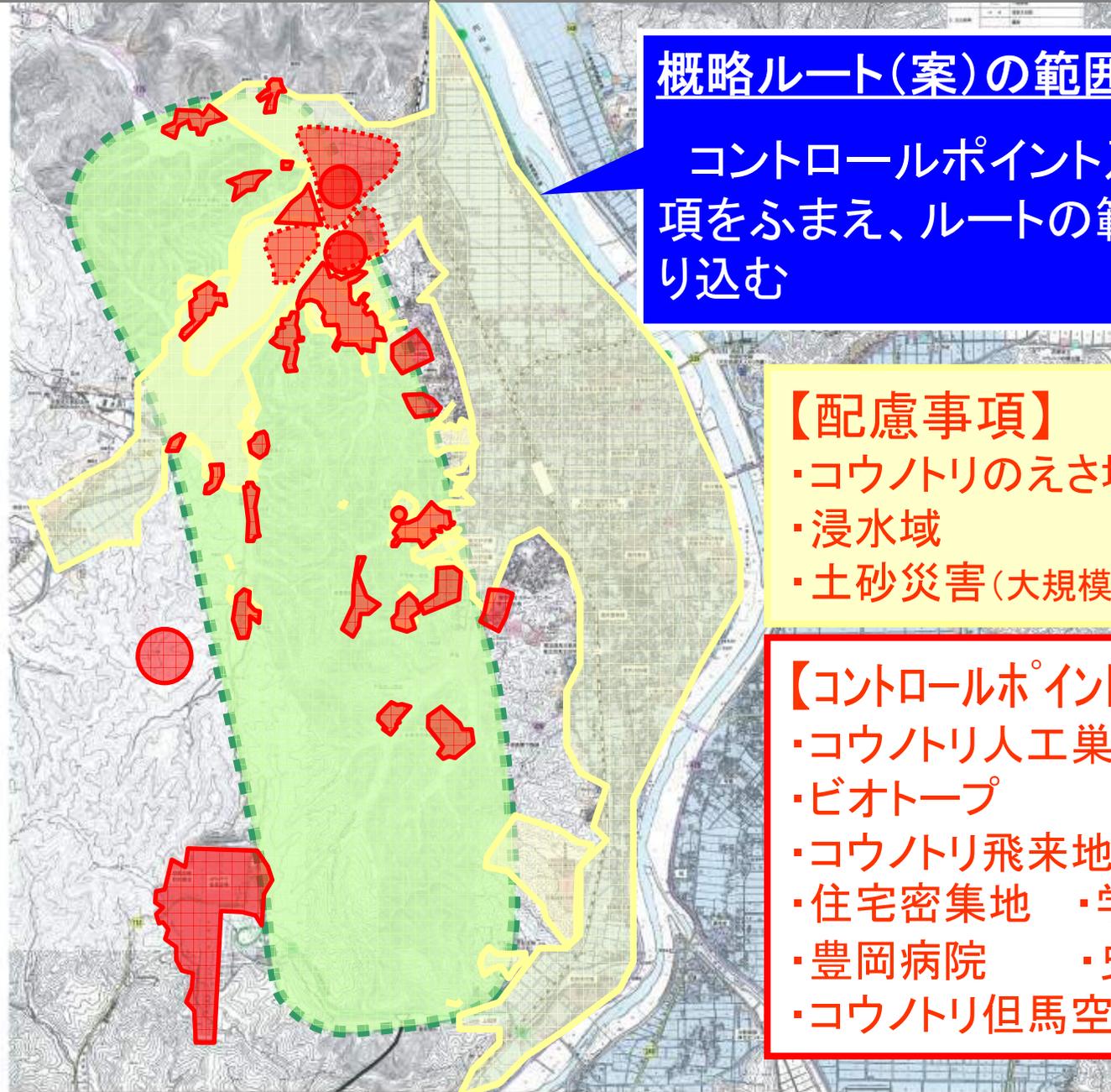
コスト縮減

- ・工事や維持管理のコストを少なくすることを検討 (橋梁やトンネルなどの構造物を少なくする 等)



総合的な見地からルート構造を検討していく。

3. 概略ルート(案)の範囲の考え方



概略ルート(案)の範囲の考え方

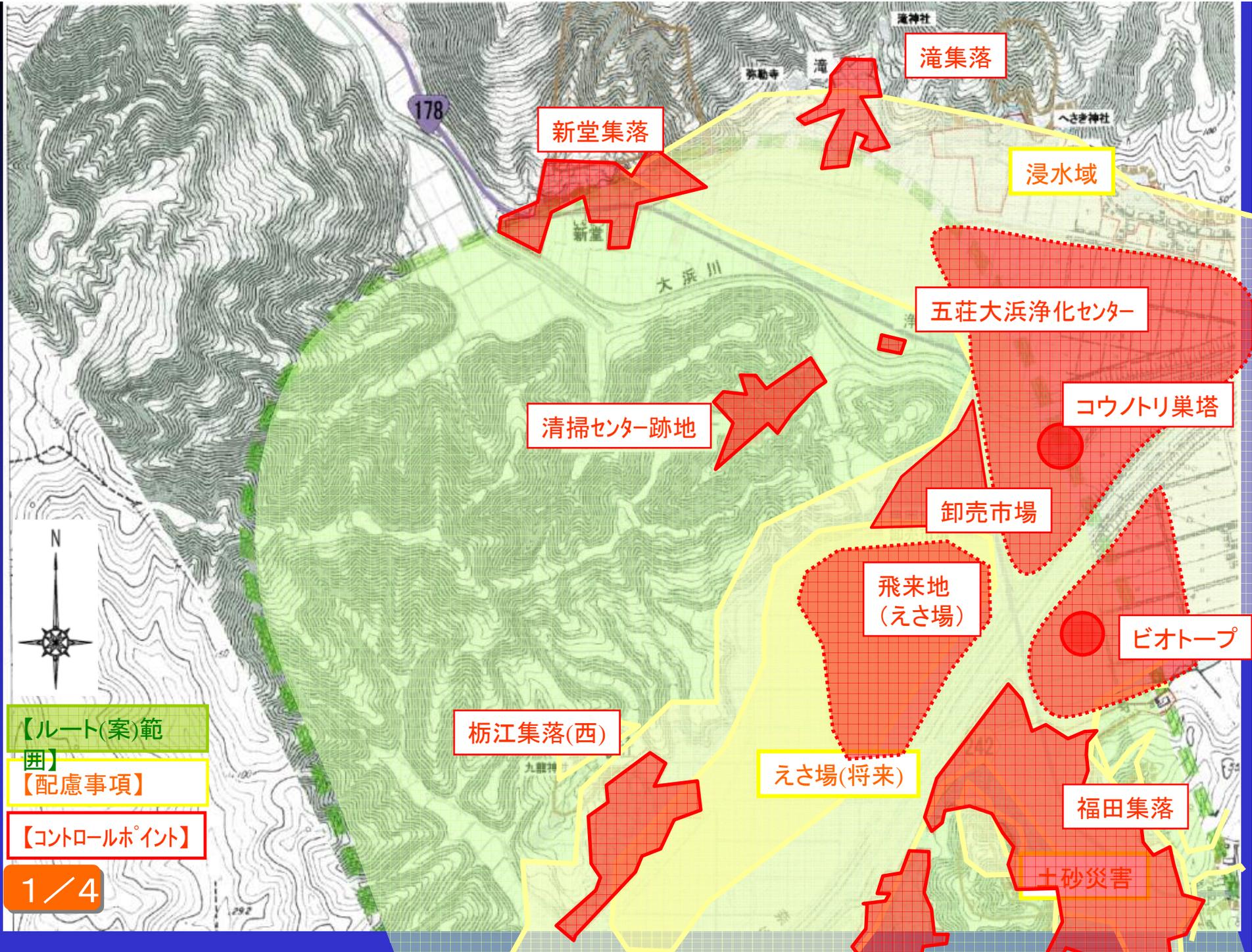
コントロールポイント及び配慮事項をふまえ、ルートの範囲を絞り込む

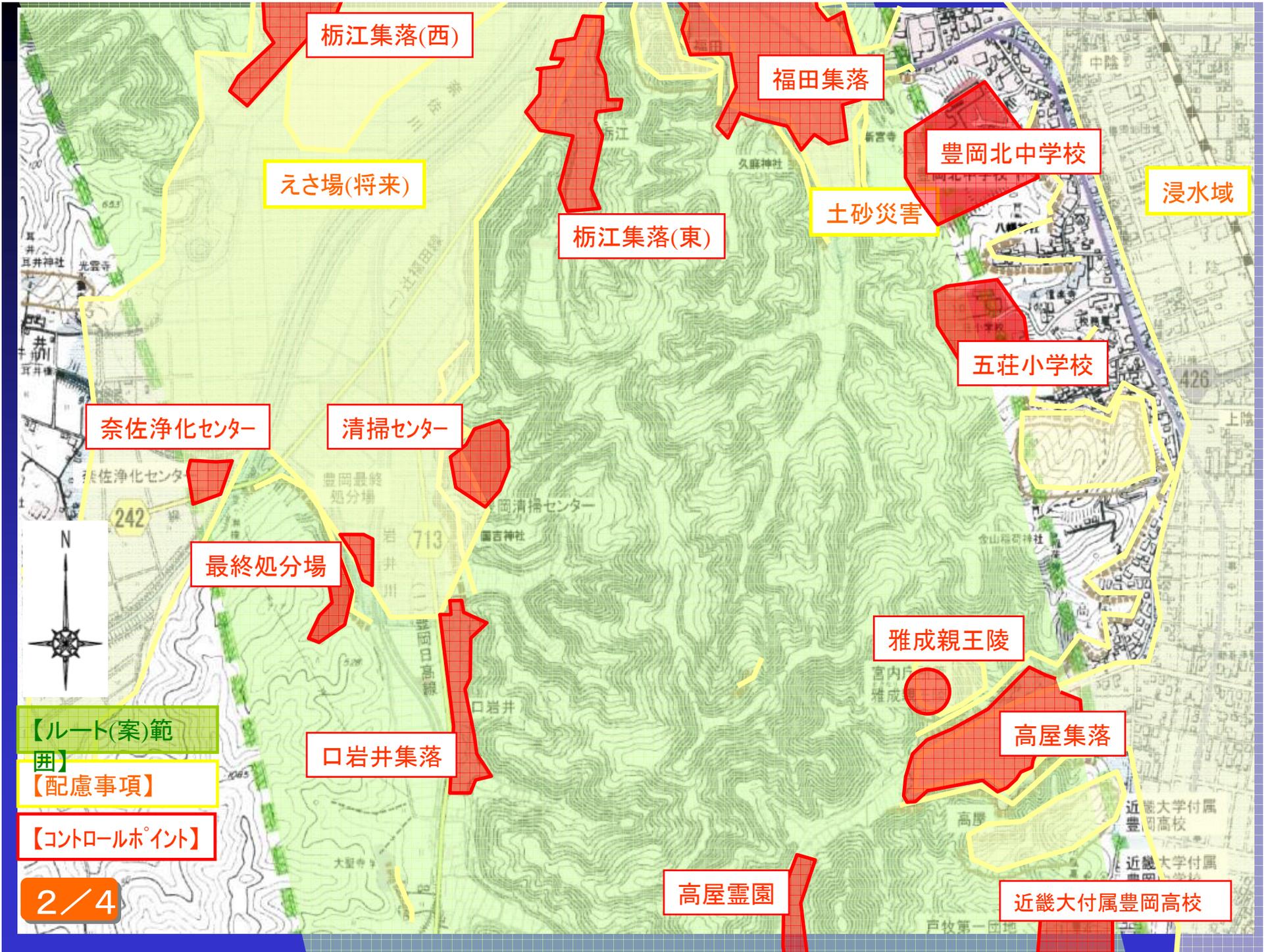
【配慮事項】

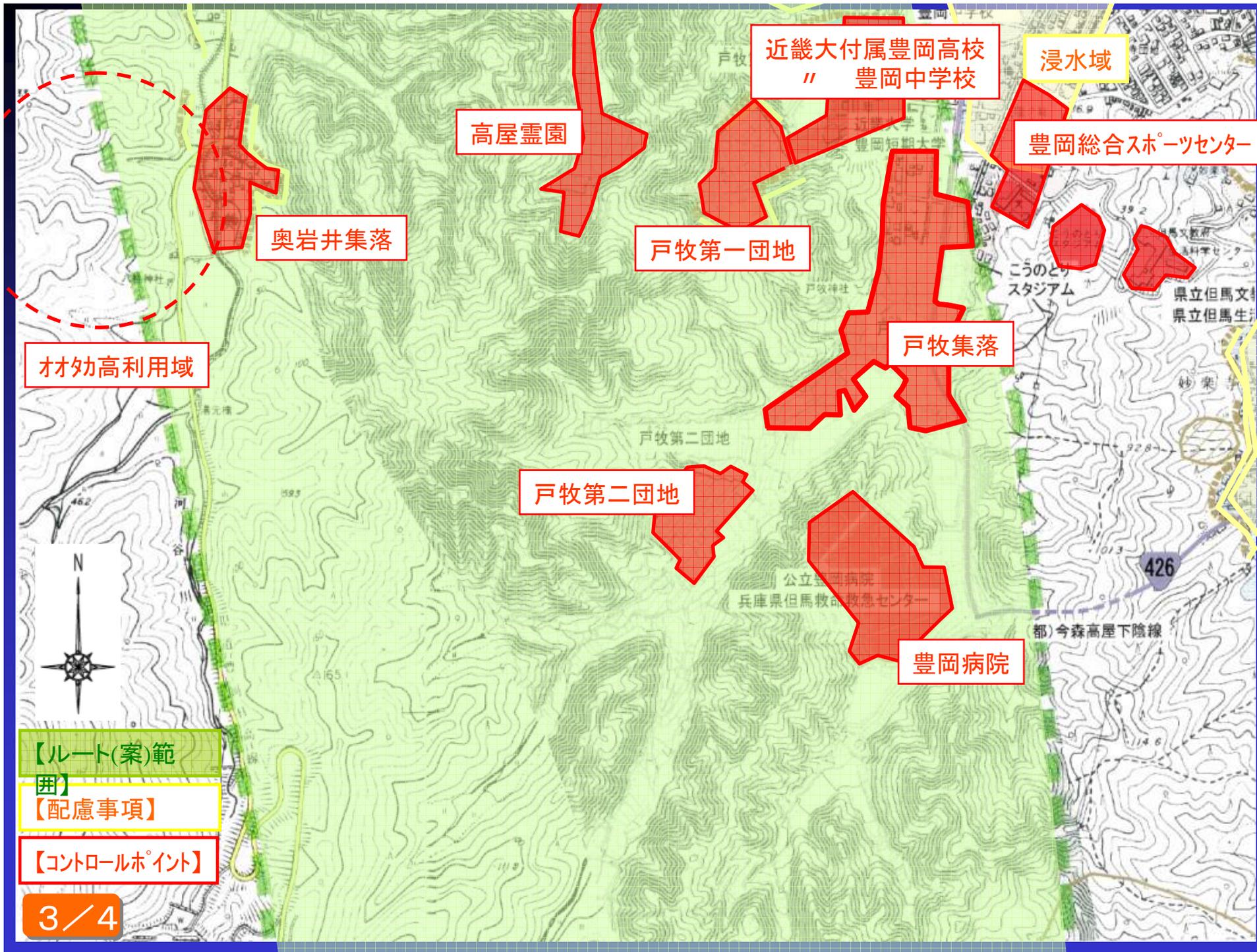
- ・コウノリのえさ場(将来)
- ・浸水域
- ・土砂災害(大規模なもの除く)

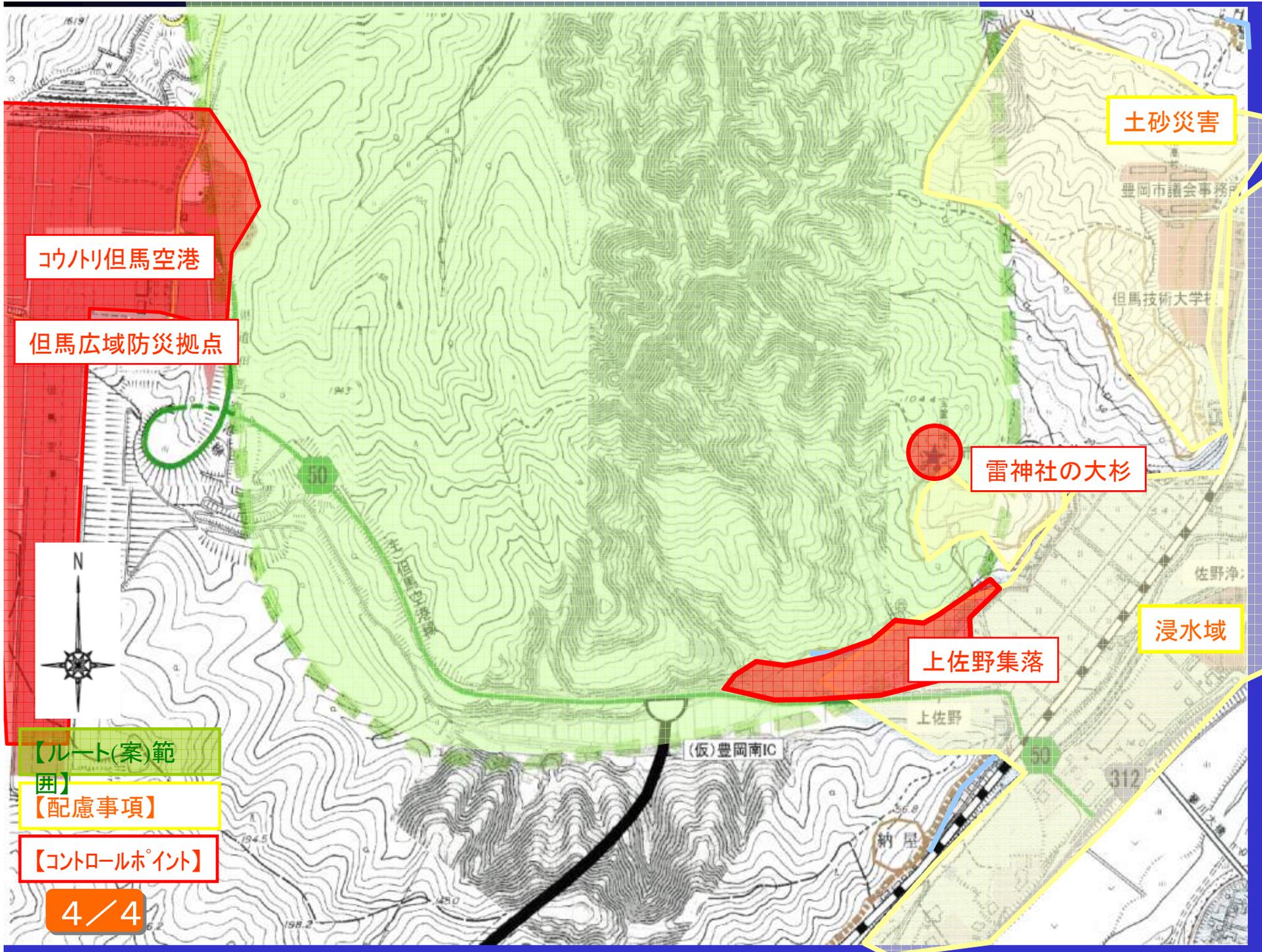
【コントロールポイント】

- ・コウノリ人工巣塔
- ・ビオトープ
- ・コウノリ飛来地(えさ場)
- ・住宅密集地
- ・学校
- ・豊岡病院
- ・史跡・霊園
- ・コウノリ但馬空港
- 等









コウトリ但馬空港

但馬広域防災拠点

土砂災害

雷神社の大杉

上佐野集落

浸水域

【ルート(案)範囲】

【配慮事項】

【コントロールポイント】

コントロールポイントと配慮事項の配慮の度合

- コントロールポイント
- 配慮事項

項目	配慮の度合			
	必ず回避	極力回避・配慮	配慮する	配慮不要
自然	<ul style="list-style-type: none"> ● コウトリ¹巣塔 ● ビオトープ ● オオカ 	<ul style="list-style-type: none"> ● コウトリえさ場 ● 景観 		
社会環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校 ● 病院 ● 住宅密集地 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光資源とのネットワーク ● 緊急医療とのネットワーク 		
史跡等	<ul style="list-style-type: none"> ● 雅成親王陵 ● 高屋霊園 			
公共施設等	<ul style="list-style-type: none"> ● コウトリ但馬空港 ● 清掃センター ● 浄化センター ● 中央卸売市場 ● 最終処分場 			
防災	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模地滑り 	<ul style="list-style-type: none"> ● 浸水区域 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地滑り 	

アンケート調査と第1回懇談会での意見による コントロールポイントと配慮事項の整理(案)

項目	意見	対 応		
		コントロールポイント	配慮事項	
			ルート検討上の配慮事項	技術的検討課題
自然	貴重な動植物との共存	○ (コウノトリ巣塔、飛来地(えさ場))	○ (えさ場(将来))	
	自然・景観への配慮		○	○
社会環境	救急医療とのネットワーク	○ (病院)	○ (アクセス)	
	観光資源とのネットワーク		○	○
	住宅地を避け、水田や山林を通る。	○		
	ICや現道へのアクセス性		○	○
史跡等	神社、仏閣、霊園、遺跡 等	○ (霊園)	○ (墓地)	
公共施設等	-	-	-	-
防災関連	災害時の走行性	○ (浸水区域(高さ)、大規模地すべり)	○ (浸水区域、地すべり)	○ (浸水区域、地すべり)
	冬場の走行性			○
その他	軟弱地盤の水田地帯			○
	安全走行性		○	○

※ 技術的検討課題については今後の検討事項